

新連載○次世代に伝えたい「いのち」から見る德育 3

『宇宙に存在する「心」の総数は一つだけだ。』

—エルヴィン・シュレーディングー—

「意識」に関わるのは
脳が先か、心が先か？

新しい年の朝、ふと胸の奥が静かになる瞬間がないでしょうか。あの透明感は、いつたいどこからやって来るのでしょうか。私たちはふだん、「心の状態は、すべて脳が作っている」と考えがちです。

ところが近年、トリニティ・カレッジ・ダブリン、アリゾナ大学、そして日本のNIMSなど、世界各地の機関で意識と量子の関係についての研究が進められ、「意識は脳の電気信号だけでは説明しきれない」という発見が、少しずつ集まり始めています。

- ・脳のごく微細な「微小管」という器官で、「量子」と呼ばれる極小の世界の法則が働いているかもしれない。
- ・その量子的なふるまいが、「意識」や、「バラバラの情報を“私”という一

つの体験としてまとめる働き」に関する話題がもしかれない。

量子とは、粒子と波の性質をあわせ持つ、エネルギーや物質の最小単位を指します。そんな量子の世界に切り込んでロジャー・ペンローズ博士らが提唱したこの仮説は、かつては批判されることもありましたが、今では真剣な研究対象になりつつあります。

私たちの「意識」をつくる
脳内の量子プロセス

私たちの脳内には、「微小管」というタンパク質構造の非常に細い管が、縦横無尽に張りめぐらされています。

量子のはたらきを
巧みに活用する生命

アルバータ大学やアリゾナ大学の研究チームは、麻酔薬がこの微小管に結合し、その「量子的な振動」を乱すことによって意識を消している可能性を示しました。もし、麻酔薬が微小管の働きを変えることで意識を「消している」

のだとしたら、微小管での量子プロセスこそが意識の発生に深く関わっていることになります。

麻酔に関しては、さらに興味深い事実があります。同じ麻酔ガスでも、「同位体」（化学的な性質は同じなのに、量子的な性質だけが異なるもの）を用いた実験において、その量子的な違いだけで意識の消え方が変わってしまうことが発見されたのです。これは、量子レベルの微細な要素が、「意識」という大きな現象に直接影響していることを示唆する、極めて重要な知見です。

覚めているときには、はつきりとした信号が現れる。」「眠りに落ちていくにつれて信号が弱まり、ある段階で途切れる」といった、意識の状態と呼応するような変化が報告されました。

以前は「温かくて湿ったノイズだけの生物の体内では、繊細な量子効果が保てるはずがない」と言われています。しかし目を自然界に向けると、すでに量子のはたらきを巧みに活用している生命の姿が明らかになっています。

渡り鳥や植物もあやつる
「量子効果」とは？

たとえば、オックスフォード大学やオルデンブルク大学の研究では、渡り鳥が長い旅の途中でわずかな磁場の違いを量子レベルの感度で読み取って軌道修正をしていることが分かりました。また、ローレンス・バークレー国立研究所とカリフオルニア大学バークレー校のチームは、植物が光合成を効率的に行うために量子効果を利用していることを実験的に示しています。

鳥が迷わずに飛び、植物が光を取りこぼさないように量子の力を使っているのであれば、同じように人間の脳が、意識の制御に量子を利用しているとしても、不思議ではないかもしれません。そう考えると、古代から人類が行ってきた瞑想や座禅、ヨガなどの活動も、こうした微細な秩序である量子効果とつながることを目指す営みであったのかもしれません。ときに訪れる「自分を超えた何かと一体になったような感覚」も、

おそらくその現れなのでしょう。

宇宙全体で共鳴する 「量子と量子」のつながり

量子と量子は、一つひとつは物質の最小単位でありながら、たとえ宇宙の端から端へと離れていたとしても距離を超えて常に相関を保ち続けます（量子もつれ）。この視点に立てば、個人の意識もまた、宇宙全体の意識と共鳴していると表現することもできます。

ぜひ、自分の内側に湧いてくる澄んだ感覚や、ふとした親切心、優しさの衝動を大切に扱ってみてください。それは、あなた一人の心の動きであると同時に、広い世界全体の意識から届いている『メッセージ』なのかもしれません。

ミクロな世界の物理法則である、量子の世界から覗いてみると、「私たちの意識は世界から切り離された孤立した点ではない」というイメージが浮かび上がります。新年に描く、あなたの今日の意識による小さな選択が、世界全体の意識のかたちを、そして世界の未来を、静かに変えていくのです。



おおつばのぶゆき
大坪信之

株式会社クラ・ゼミ 顧問
コペルメソッド エバンジェリスト

プロフィール

1963年福岡県生まれ。

幼稚教室コペル共同創業者・コペルメソッドエバンジェリスト。福岡大学 人間関係論非常勤講師。一般社団法人德育学会会長。日本メンタルヘルス協会公認カウンセラー。ユネスコ Inclusive Policy Lab 専門家。幼稚教室コペルの創業以来、30年以上にわたり心の教育を志し、様々な研究に取り組み続けている。